

科目名	異文化間コミュニケーション				授業形態		開講期間	10月3日～11月28日	
	英文科目名	Intercultural Communication			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	○	開講時間	火曜日 第3講時 13：00～14：30	
担当教員	堀井 祐介				成績評価の方法	開講場所	金沢大学	①最終試験：100点 ②Pop Quizzes：50点 ③グループ・ディスカッション：30点 上記①②③の合計点：180点 S 90-100% (162-180 points) A 80-89% (144-161 points) B 70-79% (126-143 points) C 60-69% (108-125 points) F 60%未満 (108 points未満)	
	単位数 1単位 定員数 52名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 受付順								
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
					9,800円	28,200円	14,800円		
科目の内容	授業の概要 授業では、ディスカッションやクラス内発表、ロールプレイやペアワークなど、様々な形での積極的な参加が求められる。毎週平均10～20ページ程度のリーディング課題を出す。授業では、リーディング課題を読んできたことを前提に授業を進めていくので、必ず授業前にリーディング課題を読んでおくことが求められる。								その他特記事項 オリジナルテキストを金沢大学生協で購入してください。 授業では、ディスカッションやクラス内発表、ロールプレイやペアワークなど、様々な形での積極的な参加が求められる。毎週平均10～20ページ程度のリーディング課題を出す。授業では、リーディング課題を読んできたことを前提に授業を進めていくので、必ず授業前にリーディング課題を読んでおくことが求められる。 授業外学習 毎週平均90分の授業外学習時間が求められる。学習内容には、課題文献と参考資料を読むこと、Pop Quizzes解答(課題文献を読んできたかどうかの確認テスト)、学習グループによるTest Bankへの対応、Lecture Notesの整理などが含まれる。
	授業内容(各週ごとに記載) 1. ガイダンス、基本概念の説明、「異なる」とは、アメリカでのジェスチャー 2. 文化的価値観：ハイ・コンテクストとロー・コンテクストのコミュニケーション、不確実性の回避、男性らしさと女性らしさ 3. 非言語コミュニケーション：顔の表情、対人距離、接触行動、アイコンタクト 4. 偏見とレイシズムⅠ【講義】 5. 偏見とレイシズムⅡ【グループ・ディスカッション】 6. 自民族中心主義と文化相対主義Ⅰ【講義】 7. 自民族中心主義と文化相対主義Ⅱ【グループ・ディスカッション】 8. 傾聴力、最終試験								
授業担当教員紹介				URL	https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=2000&page=5&org1_cd=585000				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	horii@staff.kanazawa-u.ac.jp				